

(1) 令和6年 11月 20日 5時 1年 1組 場所 メディアセンター

(2) 単元名 アフリカ州

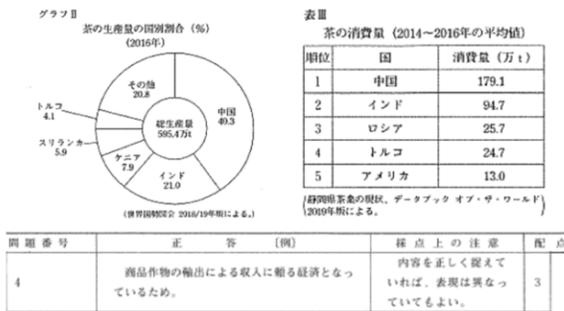
(3) 本時の目標 AIと図書館利用を通してファクトフルネスな回答にたどり着く

(4) 授業の流れ

1, AIによるアフリカの「貧困」の解答を得る。
 2, AIの解答が本当に事実か図書館利用を通してファクトフルネスデータや数値による事実の確認を行う。
 【メディアセンターの利用】
 ・本は事前に司書の先生と打ち合わせして確認に必要なものを用意。
 ・探し出すときは宝物を見つけ出すように本棚から探し出す楽しさを味わう。
 ・3人1組で事実の解析を数値として根拠を持てるようにする。
 ◎ OPPAの活用でゴールまでの道筋がわかり集積する知識を使い問題にチャレンジする。

(5) 主題となる問題 (MQ)

大さんは、世界の茶の生産と消費の関わりについて興味を持ち、世界の茶の消費量を上位5か国まで調べ、次の表を作成した。大さんは円グラフと表を見て、ケニアは、茶の生産量は3位で多いが、消費量が5位までに入っていないことに疑問をもちました。ケニアは茶の生産量は多いのに、消費量が少ないのはなぜだと考えられますか。その理由を「商品作物」の語を用い、ケニアの経済の特徴に触れて簡潔に書きなさい。



(6) 単元計画

(○…「評価に用いる評価」 ●…「学習改善につなげる評価」)

MQ 「ケニア」を例に茶の生産量が世界3位なのに対して消費量は5位に入らない謎を解きあかせ
 →PBLの実践とOPPAを活用した授業

時数	内容	知	思	態	評価規準(・評価方法)
1時	・事実の確認 【アフリカへのイメージ】 ケニアの茶葉生産量と消費量を比較して… 高校入試の問題にチャレンジ 【仮説を立てる】 アフリカは本当に「貧困」なのか?			●	仮説が根拠や理由付けができて いるか。
2時 【本時】	・ファクトフルネスの確認 【図書館活用】 → ①Chat GPTでAI検索 ②図書館の資料を使い詳細の確認	●	●		調べたものを分類・まとめること ができていますか。
3時	・アフリカの自然環境について 南北に長く面積を持つアフリカの気候を考え、 SQ1 食料問題が深刻化している原因を自然環境と 人口の特色から考える。			●	環境と人口の観点から食料問題を 紐解く知識のつながりが見えて いるかどうか。
4時	・アフリカの産業について モノカルチャー経済や児童労働の問題を読み取る。 フェアトレード実情などを踏まえて。 SQ2 ガーナの食料不足なのになぜカカオ豆だけを作る のかに着目し、歴史的要因を踏まえて説明する。	○	○	●	広大な土地や可能性を踏まえモノ カルチャー経済の歴史的要因 を理解できる。
5時	・アフリカの現状について 海外の企業がアフリカへの進出が増えている。 SQ3 アフリカの自立や発展のために、どのような取り 組みが行われているか考える。				アフリカ州が抱える課題の多面 性について理解している。 ランキング形式でどの問題を優 先するのか、なぜそれを優先す るのか考える。
6時	・アフリカ経済圏についての自分の考えや根拠を立て て発表を行う。 ・アフリカ州と日本の未来を考え、持続可能な発展を 考える。		○	○	